

生き方部会だより

Vol. 57

2015. 10. 7

文責:古川亜希子

(事務局長)

研究協議会
お疲れさまでした!

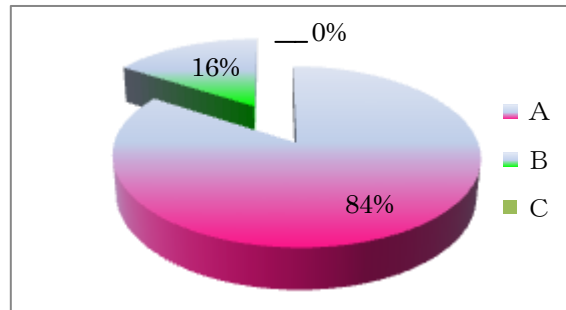
9月1日(火)の課題部会研究協議会、みなさんのご協力のおかげで無事に終わることができました。ありがとうございます。

さて、皆さんからいただいたアンケート結果を見ると、提出いただいた方の多くがA評価をつけていただきました。ただその中でも改善すべき点についてご意見をくださいましたので、次年度は反省をもとにさらに研究主題に迫れるような分科会運営を目指していきます。

部会員からのアンケート結果について (n=101)

◇所属していた分科会は、期待した内容の分科会でしたか？

評価	人数
A	85
B	16
C	0



◇運営面について

《第1分科会 ボランティア教育》

- ・障がいをもった人とのコミュニケーションのとり方について参考になった。
- ・生徒たちにも体験させたいと思った。
- ・自分の知らないボランティア団体や、このような活動団体の存在を知ることができただけでもありがたかった。
- ・興味深い内容のスポーツでしたが、待ち時間が長かったです。

《第2分科会 コミュニケーション》

- ・講演の内容がとても面白く良かったです。されどテクニック、持っていたら何かの時に使ええるなあ、と思いました。勉強になりました。
- ・明日から早速やってみたいと思える内容でした。難しかったけれど来てよかったです。
- ・2年間同じ講師の先生だったので、継続の話が聞けて良かった。
- ・グループワークはとても参考になる内容でした。技法練習の時に具体的な資料があるとよりわかりやすかったと思います。
- ・グループワークの内容がわかりにくい所があった。時間が短く、全ての問題に取り組めなかった。
- ・イメージする場面(カウンセリング)が違うので、今一つ具体性に欠けたような気がします。

◇次年度以降の研究してみたい内容について

《第1分科会》

- ・学校で実践できるスポーツを知りたい
- ・ボランティアや活動団体のことを知りたい
- ・体験型のもの

《第2分科会》

- ・コミュニケーションスキルをより深められる内容
- ・子どもの心の問題について
- ・カウンセリング

上記には代表的なご意見のみ記載しております。このほかにも大変たくさんのご意見やアドバイスをいただきました。本当にありがとうございます。部会員のみなさんのご意見を参考に、来年度の研究について検討を進めています。是非来年度も皆さんのご協力をお願いいたします。

今年の研究協議会の様子から



全体会

第1分科会、第2分科会のみなさんが一堂に会して全体会を行いました。今年は部長がパワーポイントを使い、これまでの生き方部会の活動と今後の研究について説明させていただきました。

その中で、次年度からのレポート作成について説明させていただきました。研究を児童生徒に還元していくことをねらいとし、皆さんで交流していけるように、と考えています(レポート形式の詳細は11月初旬の次号に掲載を予定しています)。

第1分科会 ディスクゴルフと様々な車いすの乗車体験



第1分科会ではNPO法人あ・りーさだ代表理事の正木英之さんをお招きし、「ディスクゴルフ」について教えていただきました。投げ方のコツをつかむまで皆さん汗を流しながら真剣に練習していました。また、様々なタイプの車いすに乗せていただき、普段はできない体験ができました。

正木さんからは、希望してもらえれば学校に伺います、という嬉しいお話もいただき、今後の学校の活動に取り入れることも考えられることがわかりました。

第2分科会 論理療法についての講演、小グループに分かれての論駁演習



第2分科会は昨年に引き続き、北海道医療大学の富家直明先生に講演をお願いしました。「論理療法における論駁法」という新しい“ワザ”を教えてくださいました。「少し難しい方法でしたが、部分的に用いてみたい」、「意識の片隅に入れておいて、いざというときに使ってみてみたい」という感想をいただきました。

富家先生からは、「あくまでも方法の一つであって、普段の方法で児童生徒とコミュニケーションがとれていればそれでいいのです」、ということもお話をいただきました。